

2013年6月4日

報道関係各位

株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ

仮想化環境の監視・管理ツール **MoonWalker ver.2.5** をリリース 垂直統合型仮想プラットフォーム上で仮想アプライアンスとして稼働可能

ITホールディングスグループの株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：高岡利光、以下クラウド・スコープ・テクノロジーズ）は、仮想化環境をビジュアルに監視・管理する『**MoonWalker ver.2.5**』を本日リリースしました。

今回リリースする新バージョンでは、ネットワーク監視とサーバ監視機能を充実させると同時に、サービス(業務)を構成するシステム全体の一元的な構成情報管理を強化しました。構成情報管理画面に、VLAN (Virtual Local Area Network) を表示する機能やIF(インターフェイス) Ping 機能を追加し、LLDP (Link Layer Discovery Protocol*1) への対応など、運用者の負荷を軽減する機能を強化しています。

また、今回リリースした **MoonWalker ver.2.5** をもとにした、仮想アプライアンスの提供も開始しています。昨今、ベンダーは垂直統合型仮想プラットフォームの提供に注力していますが、これら垂直統合型仮想プラットフォーム上での仮想アプライアンス製品としてもご利用ご提供いただくことが可能となります。仮想アプライアンス化により、**MoonWalker** のインストールに必要な時間が大幅に短縮され、最短1時間程度 (*2) で運用を開始することができます。

【今回新たに提供する機能】

MoonWalker ver.2.5 で追加した機能は、ユーザからの具体的な要望に基づき、新たに開発したもので、更なる運用の利便性と効率化を支援します。

1. サービス構成情報画面に VLAN 表示を追加

MoonWalker の特長の一つであるサービス(業務)視点から見たシステム構成情報管理機能の管理画面に VLAN も表示できるようになりました。

図1のように、特定のサービスがどのような仮想環境やネットワーク(VLAN)から構成されているかを一瞥で把握することができるため、エンドユーザからサービスの問題報告を受けた場合、どの構成要素に原因があるのかを調査範囲や原因を即座に把握することが可能となります。

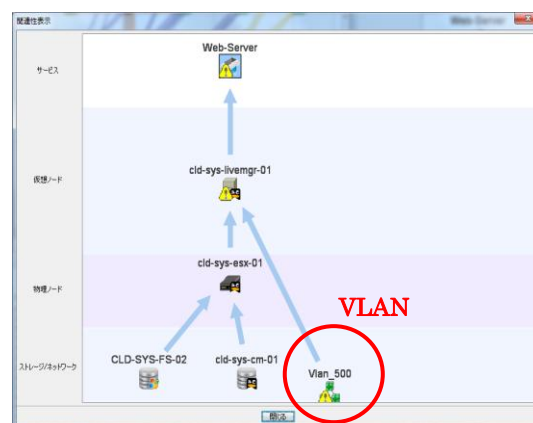


図1：サービスを中心に見た構成情報管理画面

また、ミッションクリティカルな業務では、その多くが VLAN 論理ネットワークを使用して構築されています。**MoonWalker** のシステム構成情報管理に VLAN 表示を追加したことにより、業務を構成する全ての要素の一覧把握ができるため、障害の迅速な対応を可能にしました。

2. 自動結線機能を追加 (LLDP 対応)

今回の LLDP 対応により、LLDP 対応機器のポート間リンクを自動で結線し表示することができるようになりました。ユーザが LLDP 対応の機器を追加したり、ネットワークの設定を変更した際に、**MoonWalker** 画面のネットワークリンクの変更も自動対応するため、初期監視設定時の運用者の負担が軽減できます。

3. IF (インターフェイス) Ping 機能を追加 (業務毎の死活監視機能追加)

一般的に死活監視として多くのツールで採用されている方法は、機器の代表ポートの IP アドレスのみを死活監視する Ping 監視(死活監視)です。

MoonWalker ver.2.5 では、代表ポート以外に付属する IP アドレスに対しても死活監視を行えます。特定のポートが停止しているかどうかを IP アドレスの通信レベルで確認することができ、実サービスへの障害を管理することができます。

(*1) データリンク層の接続を検出、管理するプロトコルで IEEE802.1ab で標準化されている。単に TCP/IP 情報を設定する DHCP/BOOTP と異なり、LAN に接続された機器を検出して各種の設定や管理を行うことができる。

(*2) OS インストール、モジュールインストール、起動確認、ノード登録などの監視設定といった作業に要する最短所要時間です。ライセンス発行に必要な時間を除きます。

【垂直統合型仮想プラットフォーム対応の仮想アプライアンス】

仮想化技術の活用が進む中、垂直統合仮想プラットフォームを提供するベンダーが増加しています。このプラットフォームの導入により、ユーザは異種混在の仮想化環境を容易に構築し IT リソースを有効に活用することができます。

MoonWalker ver.2.5 は垂直統合型仮想プラットフォーム上で仮想アプライアンスとして利用できるようになりました。この仮想アプライアンス化は **MoonWalker** の設定や構成の最適化があらかじめ行われているため、ユーザは導入に時間をかけることなく異種混在の仮想化環境を監視・管理することができます。また、垂直統合型仮想プラットフォームで提供される仮想環境をはじめ、ユーザが既に構築した IT 基盤インフラや他仮想環境も併せて一元的に監視・管理できるようになります。仮想アプライアンスの詳細は次のウェブサイトを参照ください。

<http://www.cloud-scope.com/moonwalker-for-puresystems.html>

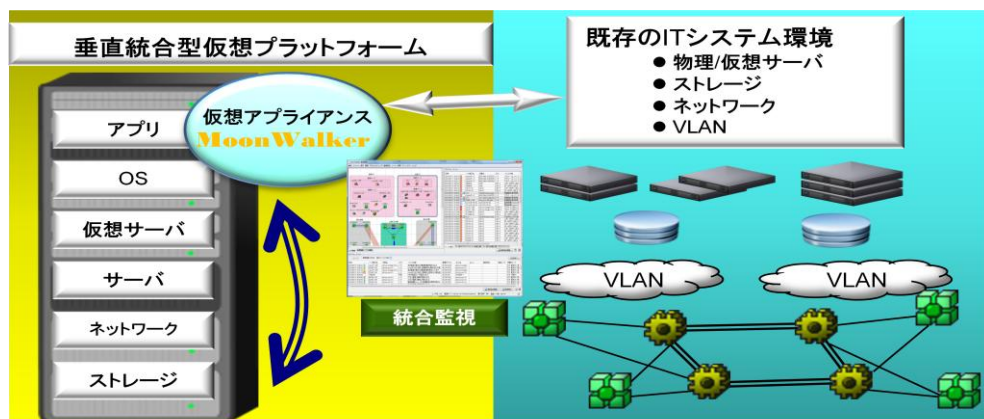


図 2 : 垂直統合型仮想プラットフォーム上での仮想アプライアンス化のイメージ

MoonWalker 製品機能概要

MoonWalker は、サーバ機器やネットワーク機器等の障害情報、統計情報を一元的に管理・監視する統合運用監視ツールです。**MoonWalker** は次のような機能を提供いたします。

◀構成管理▶

- サービス視点からみた物理・仮想サーバ/ストレージ/VLAN までの構成表示
- 仮想環境及びネットワークの GUI 表示
- ウィザード画面を利用した構成情報の自動取得
- LLDP プロトコル対応（自動結線機能）
- VLAN 自動設定オプション

◀障害監視▶

- エージェント型/エージェントレス型の監視設定
- イベントの相関機能にて迅速に原因分析と影響範囲を把握
- IPv4、IPv6 アドレスベースの IF Ping 死活監視やイベント監視機能
- VLAN の監視オプション

◀標準価格▶

5,000,000 円(消費税別)～

クラウド・スコープ・テクノロジーズについて

クラウド・スコープ・テクノロジーズは、次世代のネットワーク管理・監視・分析システムの開発・販売を目的に 2008 年 7 月 1 日に創設されました。

現在ではネットワーク設計やサービスの見える化技術をはじめ、SaaS/PaaS/IaaS 上の仮想システムの管理技術等の研究開発やコンサルティング業務なども行っております。

また、通信事業会社、東京証券取引所をはじめとする大規模ネットワークを保有されている企業を中心に監視システム製品（**Hexa**：監視・管理機能、**Network Designer**：プロビジョニング機能）の開発・販売を行っています。

IT ホールディングスグループについて

IT ホールディングスグループは、様々なお客様を IT で支援する IT エキスパート集団です。進化し続ける企業グループとして、グループ各社の個性を活かし総合力で応えます。

本件に関するお問合せ 株式会社クラウド・スコープ・テクノロジーズ 営業・マーケティング部 TEL : 03-3403-8321 E-Mail : cloud-info@cloud-scope.com Web : http://www.cloud-scope.com/
